

## 新型コロナウイルス感染防止のための学生の行動指針

### I 学内において

1. 朝・昼（登校前に自宅と学内）で検温し、発熱（37.0℃以上）や咳などの症状がある場合には、登校や外出を見合わせる。
2. 流水と石けんによる手洗いまたは、アルコール消毒液による手指消毒を行う。
3. 必ずマスクを着用する。（マスクが無い場合には、手製のハンカチマスクも可能）
4. 会話や発声時はできるだけ向かい合わない。（密接場面を避ける）
5. 教室の換気を50分～90分ごとに実施する。
  - ・風通しが悪い場所では集まらない。（密閉空間を避ける）
  - ・着席時は周りの人と間隔を空けて座る。（約1メートル 密集場所を避ける）
6. 環境消毒を1日1～2回実施する。  
各部屋のドアノブ、照明のスイッチ、OA機器、マイクなど頻回に手が触れるところを、薄めた次亜塩素酸ナトリウム水溶液（0.05%）または、アルコールを含んだティッシュで拭く。OA機器は専用の消毒ウエットティッシュで拭く。

### II 実習施設において

1. 朝・昼で検温し健康管理カードに記載、発熱（37.0℃以上）や咳などの症状がある場合には、実習を見合わせる。
2. 流水と石けんによる手洗いまたは、アルコール消毒液による手指消毒を行う。
3. 必ずマスクを着用する。
  - ・マスクが無い場合には、毎日交換できる手製のハンカチマスクを使用する。
  - ・マスクは各自で準備し、1枚を1～2日使用することもあるため、マスク内にシートまたはティッシュをあて使用する。
  - ・昼食等でマスクを外した際は、各自のビニール袋に保管する。
4. カンファレンスや指導を受ける際には、横並びを心がけ、できるだけ向かい合わない。（密接場面を避ける）
5. 使用する部屋の換気を実施する。
  - ・風通しが悪い場所では集まらない。（密閉空間を避ける）
  - ・着席時は周りの人と間隔を空けて座る。（約1メートル 密集場所を避ける）

### III その他

1. 関東方面への外出はなるべく避け、必要に迫られ外出した場合には学校へ報告する。
2. 電車、バス等を利用する際は、密閉空間、密接場面を避ける。

#### \*参照

- ・令和2年度における専門学校等の授業の開始等について（通知）令和2年3月24日文部科学省
- ・「新型コロナウイルス感染症 市民向け感染予防ハンドブック」監修：賀来満夫東北医科薬科大学医学部特任教授・東北大学名誉教授